

高齢者の福祉や介護に関する調査 － 在宅介護実態調査 － 報 告 書

2020年3月
町田市高齢社会総合計画審議会
町田市

高齢者の福祉や介護に関する調査 ― 在宅介護実態調査 ― 報告書
目 次

I.	調査概要	1
1.	目的	1
2.	調査期間	1
3.	調査方法	1
4.	調査対象及び回収数	1
5.	報告書の見方	1
6.	調査内容の一覧	2
II.	要介護認定データ	3
1.	基本属性	3
(1)	本人の年齢と性別	3
(2)	要介護度(二次判定結果)	4
2.	サービス利用について	5
(1)	サービス利用の組み合わせ	5
(2)	サービスの合計利用回数	6
3.	日常生活自立度	7
(1)	障害高齢者の日常生活自立度	7
(2)	認知症高齢者の日常生活自立度	8
III.	調査結果	9
1.	A票の聞き取りを行った相手	9
2.	A票(認定調査員が、概況調査等と並行して記入する項目)	10
(1)	世帯類型	10
(2)	家族や親族による介護の頻度	11
(3)	主な介護者との関係	12
(4)	主な介護者の性別	13
(5)	主な介護者の年齢	14
(6)	主な介護者が行っている介護	15
(7)	過去1年間の介護離職の有無	16
(8)	「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況	17
(9)	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	18
(10)	施設等への入所・入居の検討状況	21
(11)	現在抱えている傷病	23

(1 2)	訪問診療の利用状況	24
(1 3)	住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況.....	25
(1 4)	介護保険サービスを利用していない理由.....	26
3.	B票（主な介護者、もしくはご本人が回答・記入する項目）	28
(1)	主な介護者の勤務形態	28
(2)	主な介護者の働き方	29
(3)	仕事と介護の両立のために効果的な支援.....	30
(4)	仕事と介護の両立	31
(5)	主な介護者が不安に感じる介護	33
IV.	調査票.....	35

I. 調査概要

1. 目的

本調査は、2021 年度～2023 年度の介護保険のサービス量の見込みや、介護保険料等について定める「第 8 期町田市介護保険事業計画」策定の基礎資料として、高齢者やその家族の状況やニーズを把握し、計画に反映させること、及び、調査結果と認定データを結び付けて分析し、在宅生活の継続、介護者の就労継続に係る施策に反映することを目的に実施した。

2. 調査期間

2019 年 7 月 1 日（月）～2019 年 12 月 31 日（火）

3. 調査方法

認定調査員による聞き取り調査

4. 調査対象及び回収数

調査対象	認定調査(更新)を受ける在宅生活の方
目標回収数	600 件
回収数	618 件
回収率	103.0%
対象抽出方法	実施期間中に要支援・要介護認定調査(更新)を受ける在宅生活者

5. 報告書の見方

- ・ 百分率（％）は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入した数値であるため、合計が 100％にならない場合がある。
- ・ 本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「％」であらわしている。
- ・ グラフ内の（ ）は、質問の回答者数（母数）を表している。
- ・ グラフ内の「回答者数」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（％）の母数をあらわしている。

6. 調査内容の一覧

A票 設問 __ 認定調査員が、概況調査等と並行して記入する項目
聞き取りを行った相手(複数回答)
問 1 世帯類型(単数回答)
問 2 家族や親族による介護の頻度(単数回答)
問 3 主な介護者との関係(単数回答)
問 4 主な介護者の性別(単数回答)
問 5 主な介護者の年齢(単数回答)
問 6 主な介護者が行っている介護(複数回答)
問 7 過去 1 年間の介護離職の有無(複数回答)
問 8 「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(複数回答)
問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(複数回答)
問 10 施設等への入所・入居の検討状況(単数回答)
問 11 現在抱えている傷病(複数回答)
問 12 訪問診療の利用状況(単数回答)
問 13 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況(単数回答)
問 14 介護保険サービスを利用していない理由(複数回答)
B票 設問 __ 主な介護者、もしくはご本人が回答・記入する項目
問 1 主な介護者の勤務形態(単数回答)
問 2 主な介護者の働き方(複数回答)
問 3 仕事と介護の両立のために効果的な支援(複数回答)
問 4 仕事と介護の両立(単数回答)
問 5 主な介護者が不安に感じる介護(複数回答)

II. 要介護認定データ

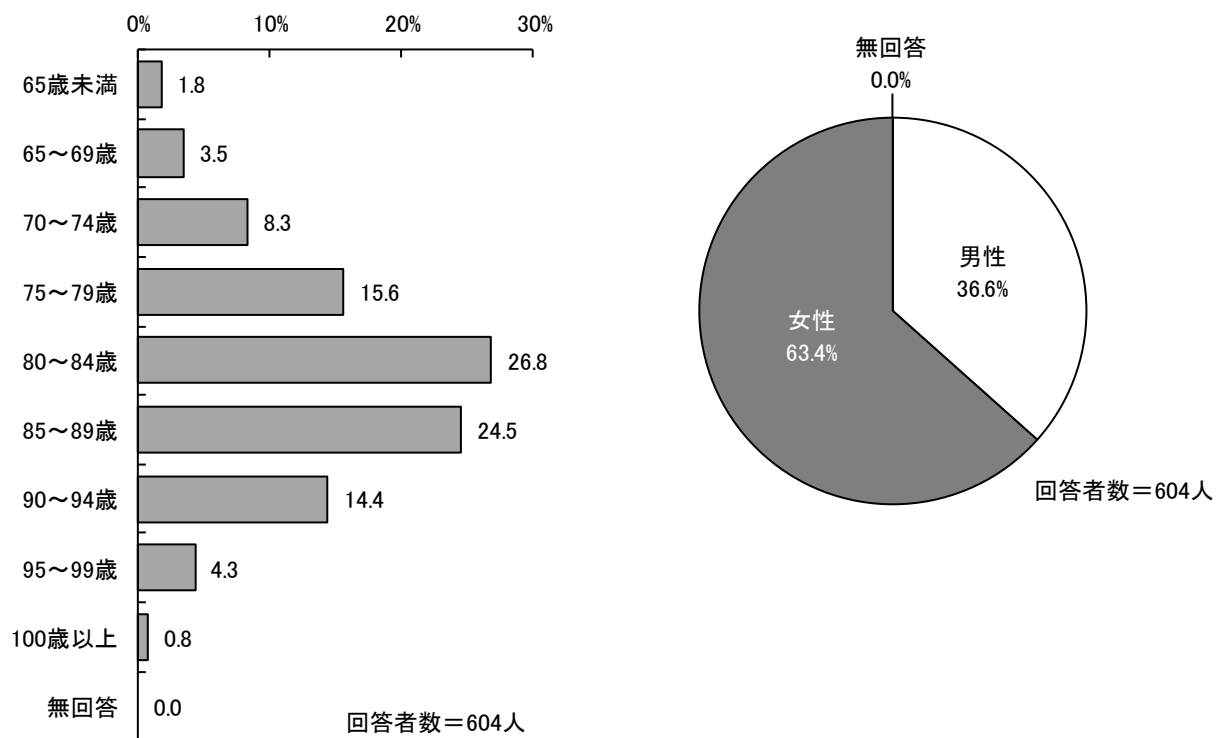
1. 基本属性

(1) 本人の年齢と性別

本人の年齢は、「80～84歳」が26.8%で最も高く、次いで「85～89歳」が24.5%、「75～79歳」が15.6%、「90～94歳」が14.4%となっている。

本人の性別は、「男性」が36.6%、「女性」が63.4%となっている。

図表 1-1 本人の年齢と性別(単数回答)

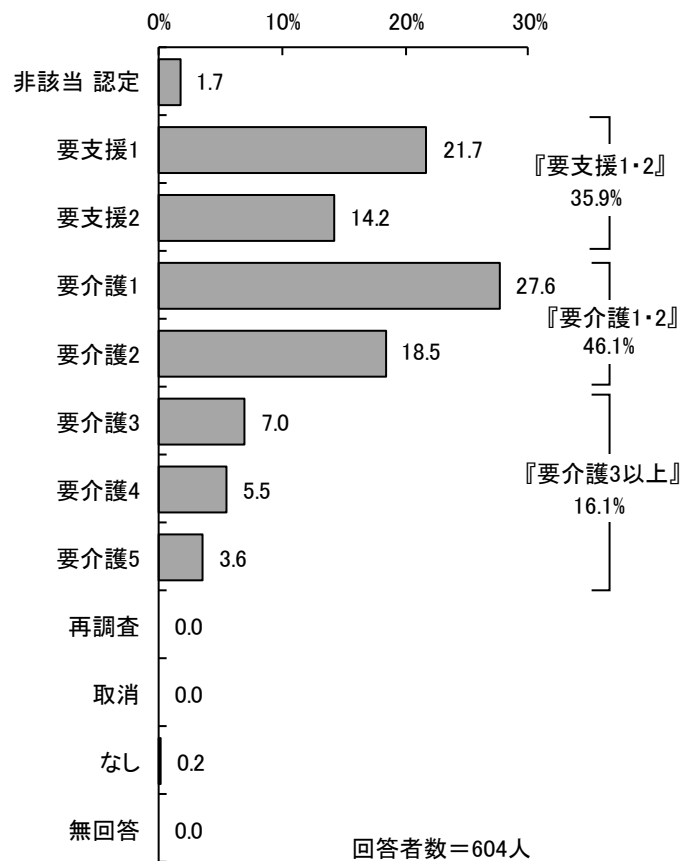


(2) 要介護度(二次判定結果)

要介護度(二次判定結果)は、「要介護1」が27.6%で最も高く、次いで「要支援1」が21.7%、「要介護2」が18.5%となっている。

また、要介護を3分類で見ると、『要介護1・2』が46.1%で最も高く、次いで『要支援1・2』35.9%、『要介護3以上』16.1%となっている。

図表 1-2 要介護度(二次判定結果)(単数回答)



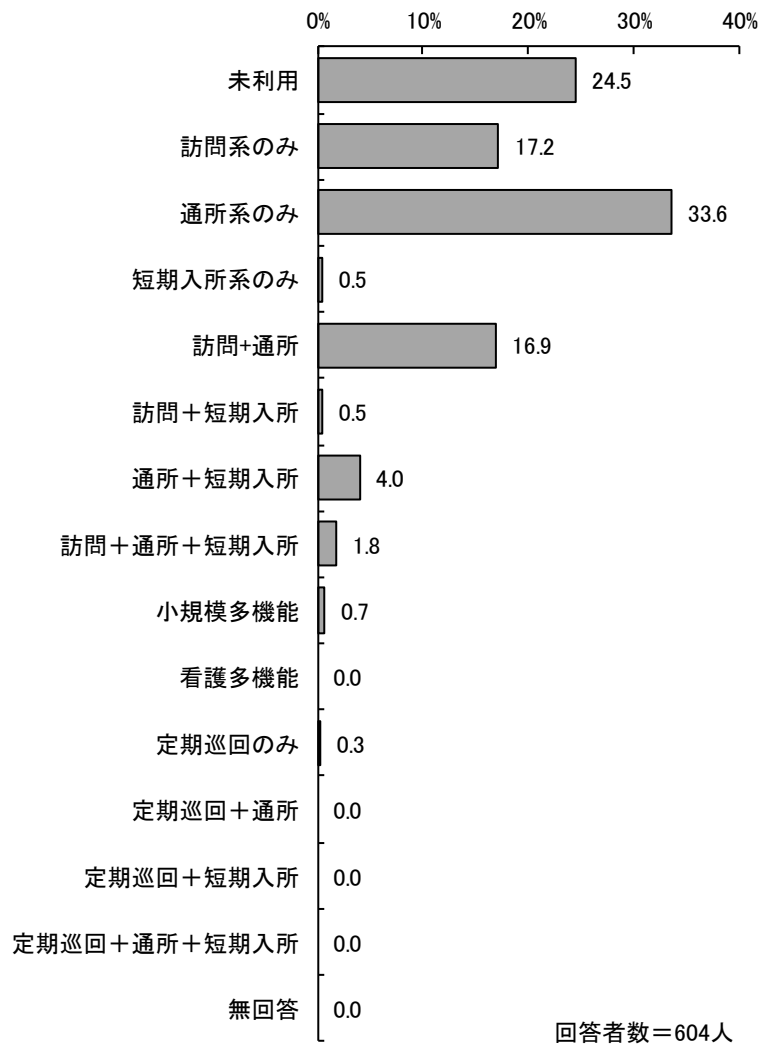
2. サービス利用について

(1) サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」が33.6%で最も高く、次いで「訪問系のみ」が17.2%、「訪問+通所」が16.9%となっている。

一方、「未利用」は24.5%となっている。

図表 2-1 サービス利用の組み合わせ(単数回答)

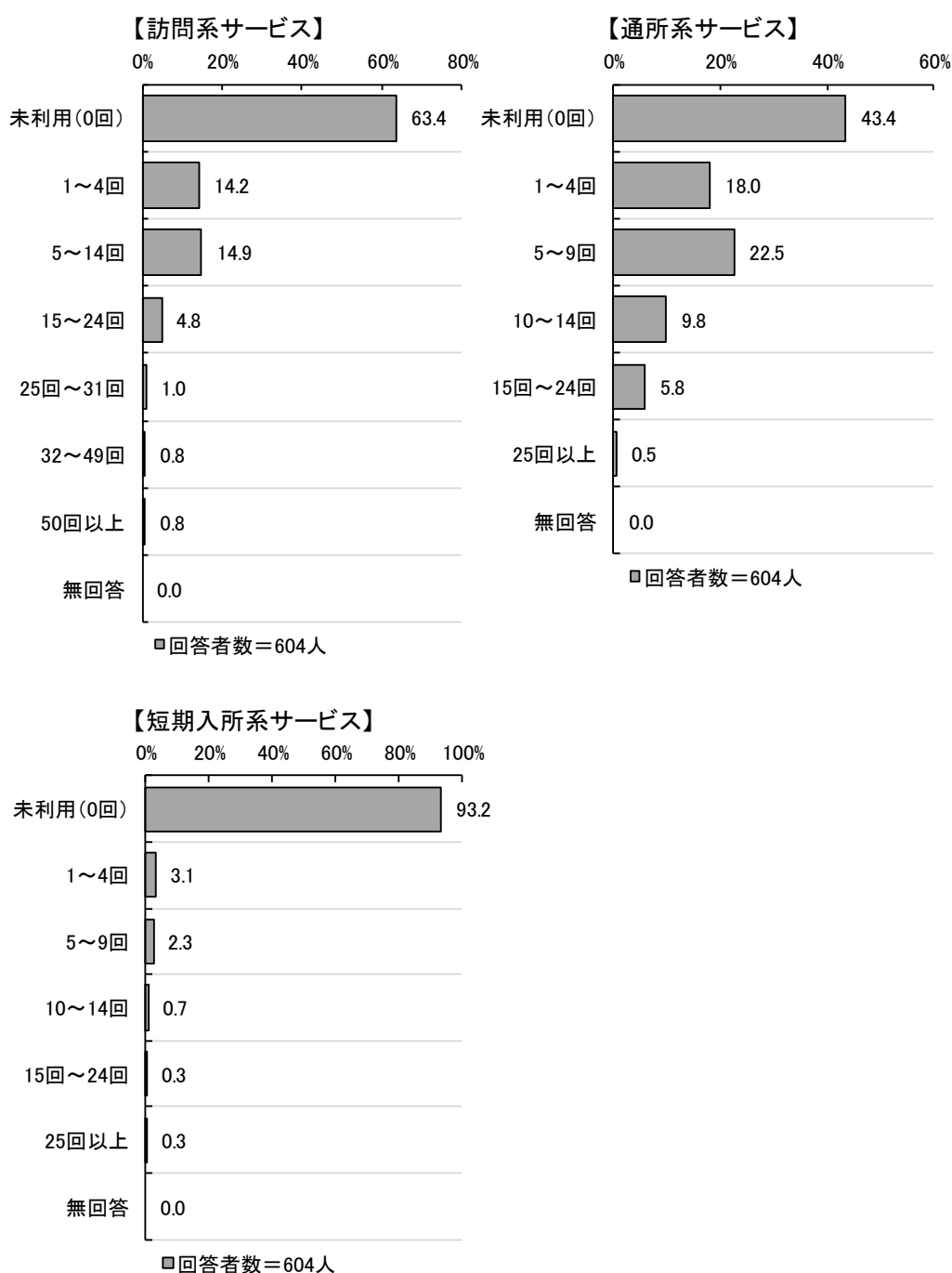


(2) サービスの合計利用回数

サービスの合計利用回数について、“訪問系サービス”では「5～14回」(14.9%)、“通所系サービス”では「5～9回」(22.5%)、“短期入所系サービス”では「1～4回」(3.1%)の割合がそれぞれ最も高くなっている。

一方、「未利用(0回)」は、“訪問系サービス”が63.4%、“通所系サービス”が43.4%、“短期入所系サービス”が93.2%となっている。

図表 2-2 サービスの合計利用回数(単数回答)

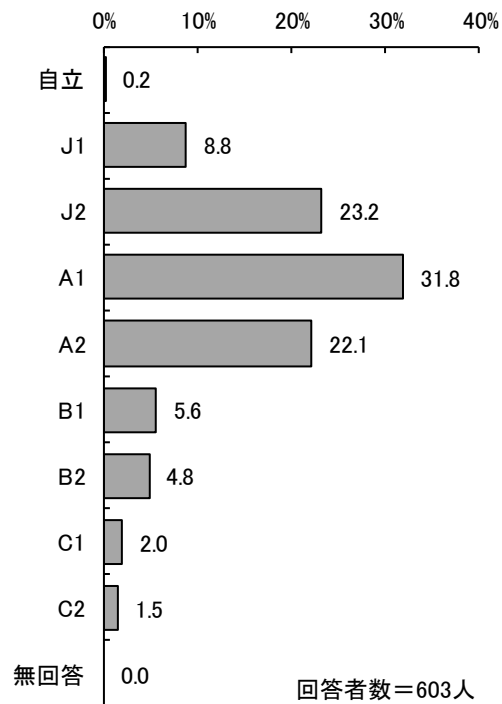


3. 日常生活自立度

(1) 障害高齢者の日常生活自立度

「障害高齢者の日常生活自立度」は、「A1」が31.8%で最も高く、次いで「J2」が23.2%、「A2」が22.1%となっている。

図表 3-1 障害高齢者の日常生活自立度(単数回答)

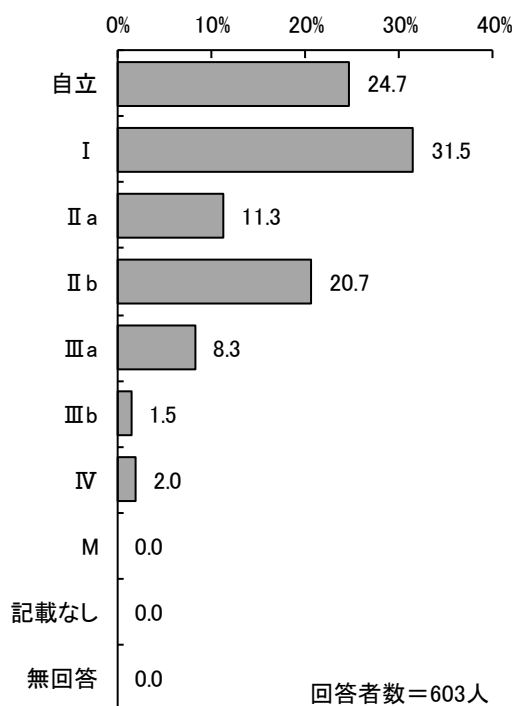


ランク	判定基準
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する
	J1 交通機関等を利用して外出する
	J2 隣近所へなら外出する
A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない
	A1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
	A2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ
	B1 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う
	B2 介助により車いすに移乗する
C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する
	C1 自力で寝返りをうつ
	C2 自力で寝返りもうてない

(2) 認知症高齢者の日常生活自立度

「認知症高齢者の日常生活自立度」は、「Ⅰ」が31.5%で最も高く、次いで「自立」が24.7%、「Ⅱb」が20.7%となっている。

図表 3-2 認知症高齢者の日常生活自立度(単数回答)



ランク	判定基準
Ⅰ	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している
Ⅱ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる
	Ⅱa 家庭外で上記Ⅱの状態が見られる
	Ⅱb 家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる
Ⅲ	日常生活に支障を来すような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする
	Ⅲa 日中を中心として上記Ⅲの状態が見られる
	Ⅲb 夜間を中心として上記Ⅲの状態が見られる
Ⅳ	ランクⅡ及びⅢの症状が頻繁に見られ、常に介護を必要とする
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする

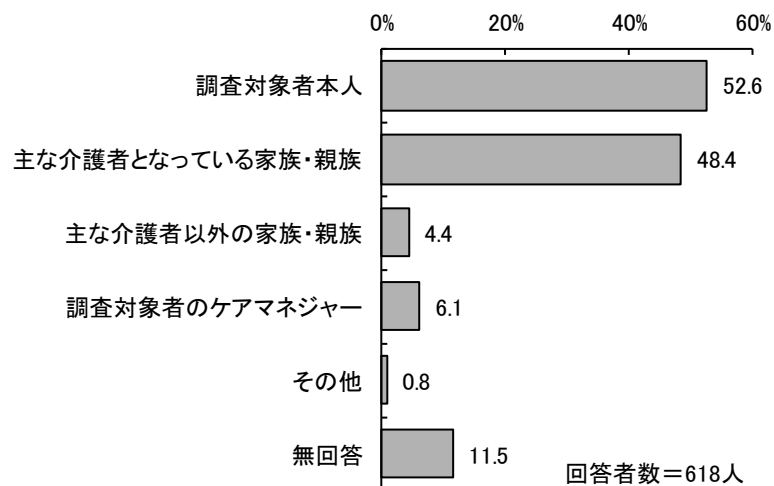
III. 調査結果

1. A票の聞き取りを行った相手

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか。（複数選択可）

A票の聞き取りを行った相手は、「調査対象者本人」が52.6%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が48.4%、「調査対象者のケアマネジャー」が6.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.4%となっている。

図表 1-1 A票の聞き取りを行った相手（複数回答）



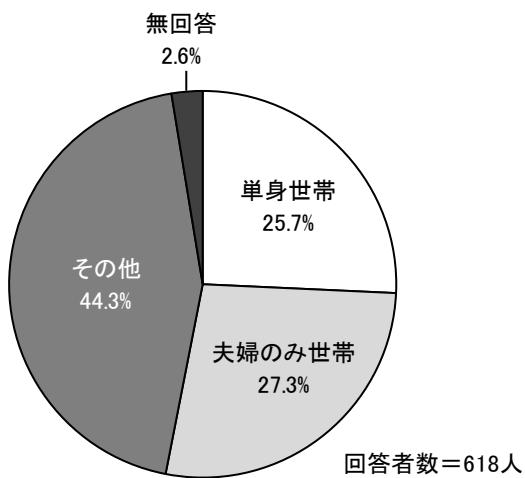
2. A票（認定調査員が、概況調査等と並行して記入する項目）

（1）世帯類型

問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

世帯類型は、「夫婦のみ世帯」が27.3%で「単身世帯」は25.7%となっている。

図表 2-1 世帯類型（単数回答）

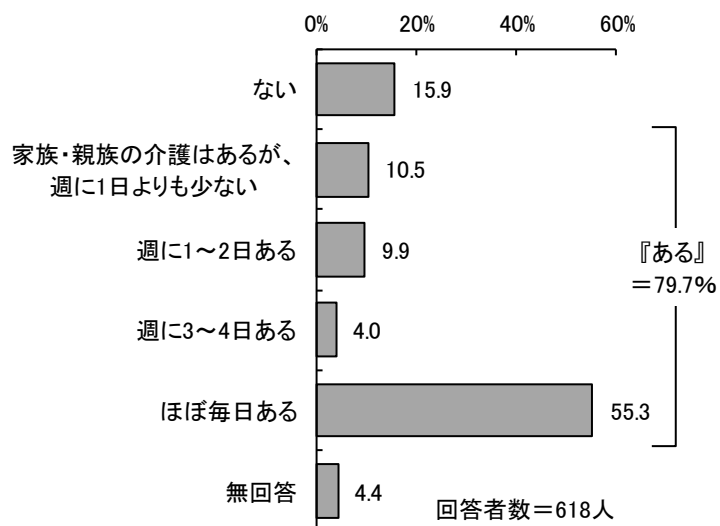


(2) 家族や親族による介護の頻度

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

家族や親族による介護は、『ある』が79.7%となっている。その中で介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が55.3%で最も高く、次いで「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が10.5%、「週に1～2日ある」が9.9%、「週に3～4日ある」が4.0%となっている。一方、「ない」は15.9%となっている。

図表 2-2 家族や親族による介護の頻度(単数回答)



※『ある』 = 「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」 + 「週に1～2日ある」 + 「週に3～4日ある」 + 「ほぼ毎日ある」

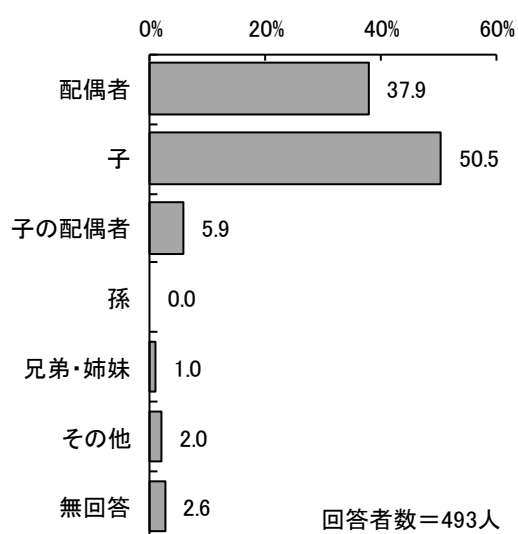
(3) 主な介護者との関係

問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

※ご家族やご親族の方からの介護を受けている方を対象に調査

介護を受けている方と主な介護者との関係は、「子」が50.5%で最も高く、次いで「配偶者」が37.9%、「子の配偶者」が5.9%、「兄弟・姉妹」が1.0%となっている。

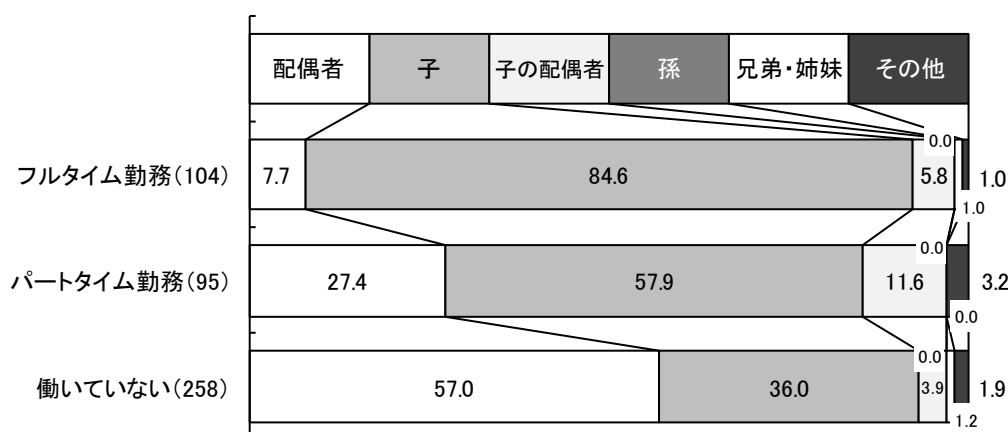
図表 2-3 主な介護者との関係(単数回答)



介護を受けている方と主な介護者との関係について、主な介護者の勤務形態別にみると、“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「子」が最も高く、それぞれ84.6%、57.9%となっている。

一方、“働いていない”では「配偶者」が57.0%で最も高く、「子」は36.0%となっている。

図表 2-4 主な介護者との関係/主な介護者の勤務形態

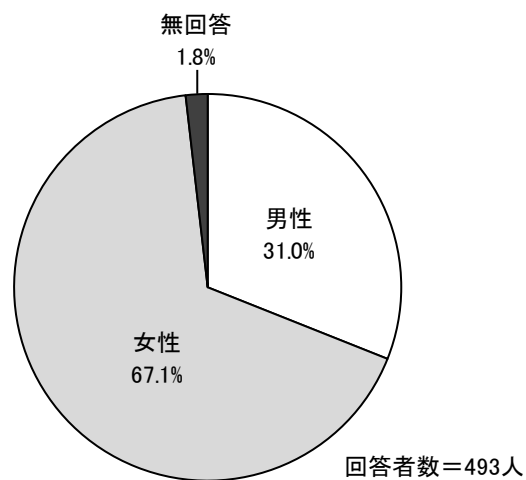


(4) 主な介護者の性別

問 4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)
※ご家族やご親族の方からの介護を受けている方を対象に調査

主な介護者の性別は、「女性」が 67.1%、「男性」が 31.0%となっている。

図表 2-5 主な介護者の性別(単数回答)



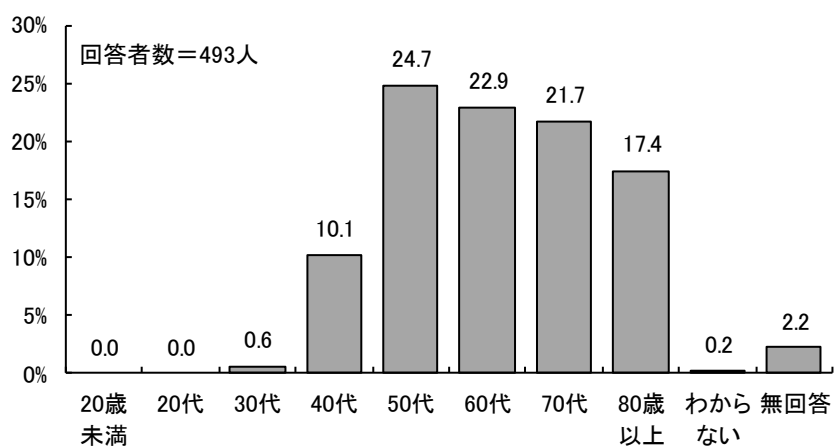
(5) 主な介護者の年齢

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

※ご家族やご親族の方からの介護を受けている方を対象に調査

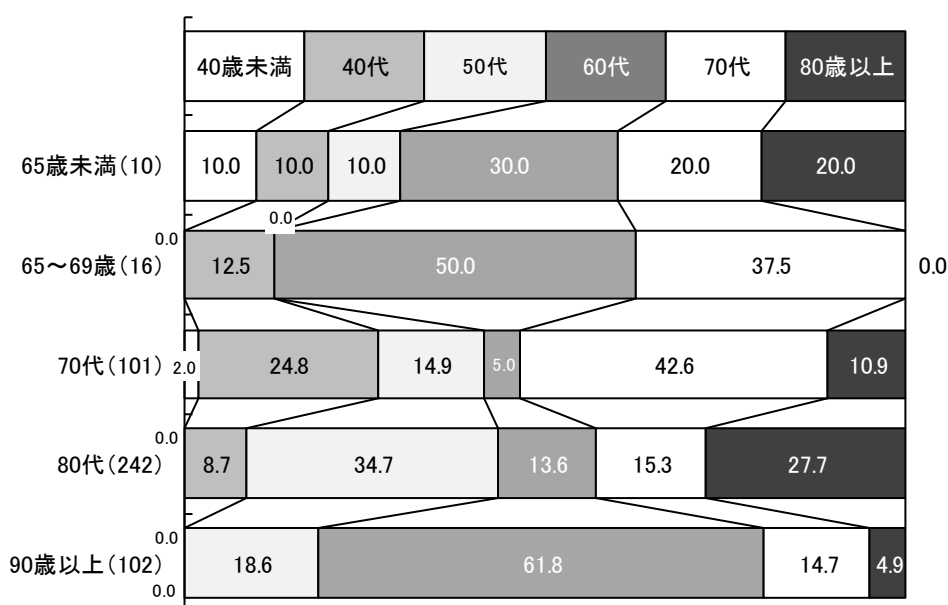
主な介護者の年齢は、「50代」が24.7%で最も高く、次いで「60代」が22.9%、「70代」が21.7%となっている。また、「60代」以上を合わせると62.0%となっており、在宅生活者の老々介護の割合が高いことがうかがえる。

図表 2-6 主な介護者の年齢(単数回答)



本人の年齢別に主な介護者の年齢をみると、「60代」以上の割合は、本人が「70代」、80代」では6割近く、「65歳未満」、「65～69歳」、「90歳以上」では7割～9割近くとなっている。

図表 2-7 主な介護者の年齢/本人の年齢



(6) 主な介護者が行っている介護

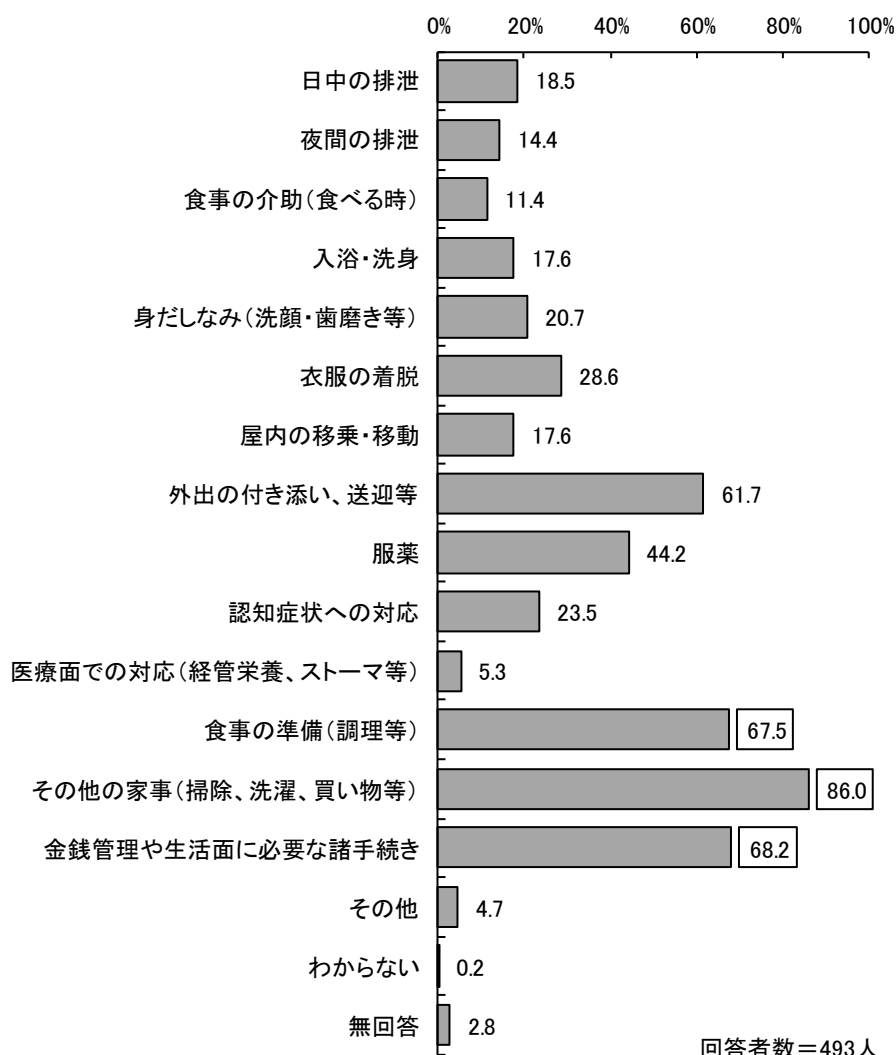
問 6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

(複数選択可)

※ご家族やご親族の方からの介護を受けている方を対象に調査

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 86.0%で最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 68.2%、「食事の準備（調理等）」が 67.5%の順となっている。

図表 2-8 主な介護者が行っている介護(複数回答)



※☐は上位3位の選択肢

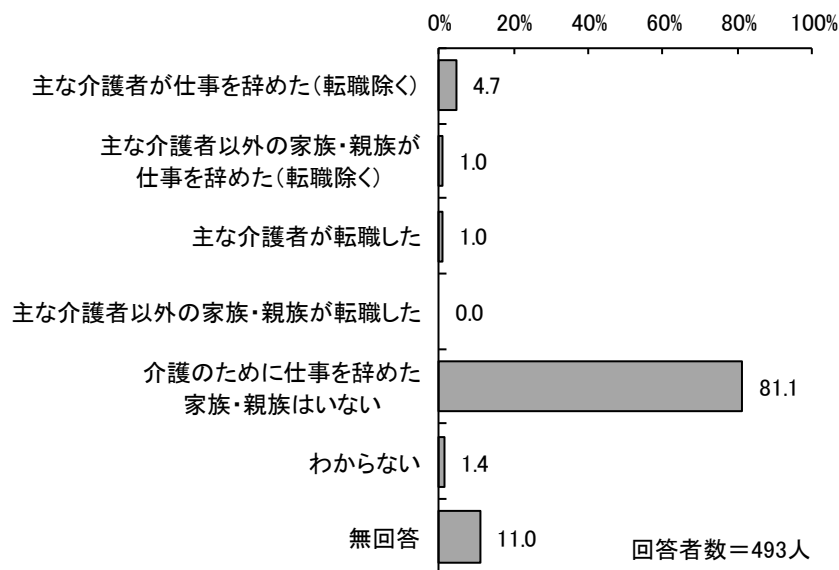
(7) 過去1年間の介護離職の有無

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

過去1年間の介護離職の有無について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が81.1%で最も高い。

一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は4.7%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」「主な介護者が転職した」はともに1.0%となっている。

図表 2-9 過去1年間の介護離職の有無（複数選択）



※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含む。

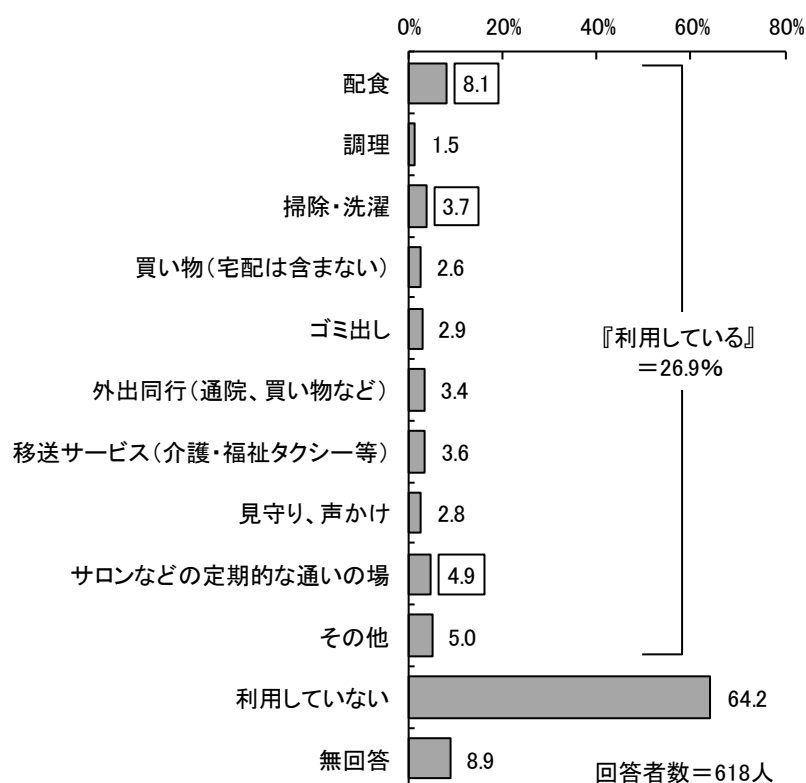
(8) 「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況

問 8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」は64.2%となっている。

一方、『利用している』は26.9%で、「配食」(8.1%)が最も高く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」(4.9%)、「掃除・洗濯」(3.7%)となっている。

図表 2-10 「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(複数回答)



※『利用している』=100% - 「利用していない」 - 「無回答」

※□は「その他」を除く上位3位の選択肢

(9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

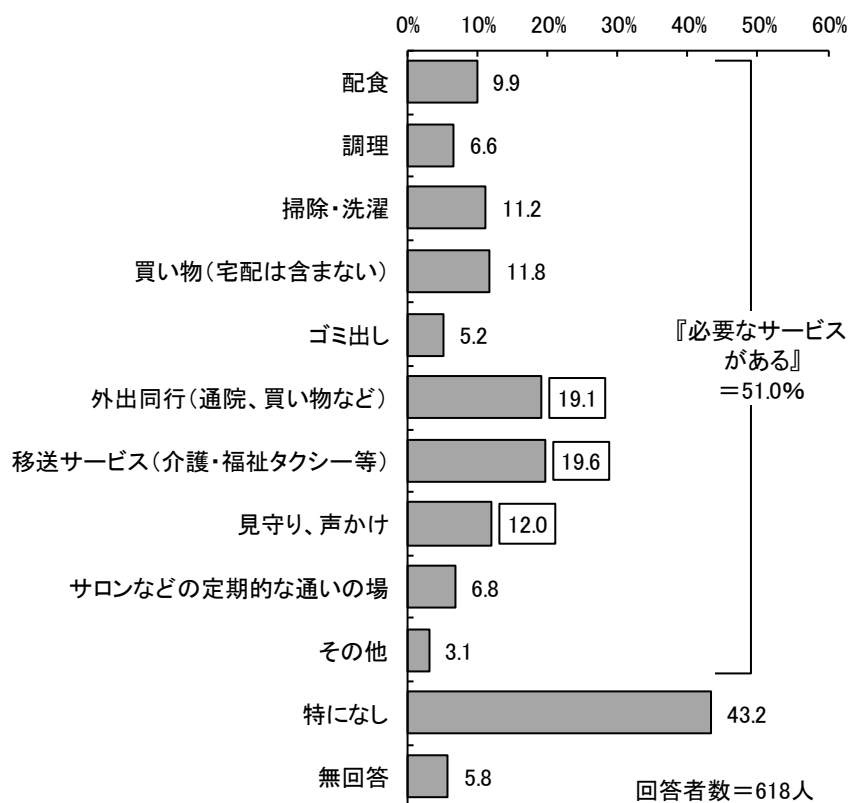
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてたずねたところ、『必要なサービスがある』は51.0%で、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（19.6%）が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（19.1%）、「見守り、声かけ」（12.0%）となっている。

一方、「特になし」は43.2%となっている。

図表 2-11 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数回答）



※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含む。

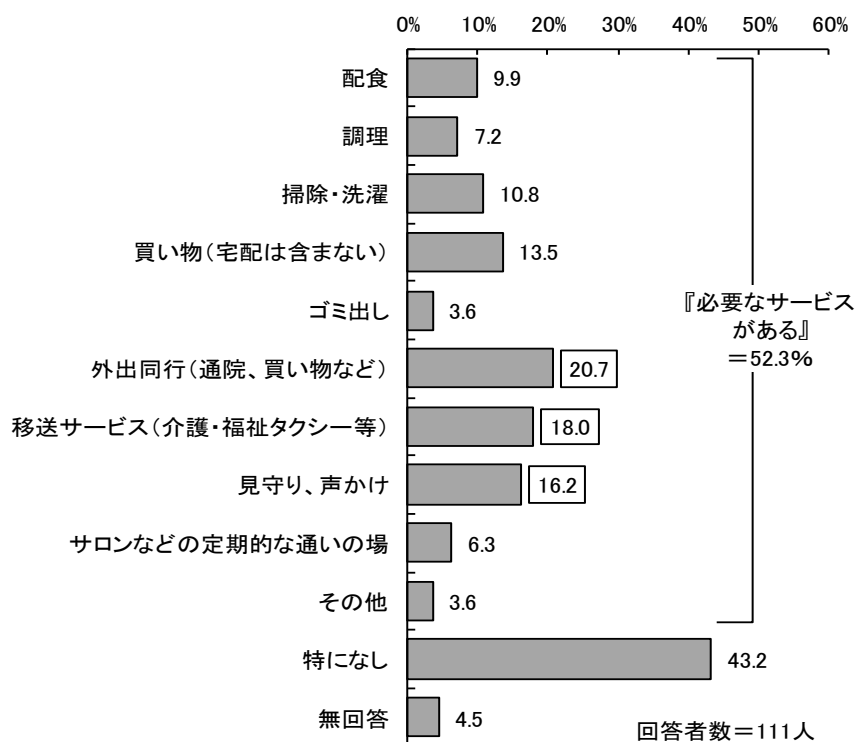
※『必要なサービスがある』=100%－「特になし」－「無回答」

※□は上位3位の選択肢

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、主な介護者の勤務形態が“フルタイム勤務”の場合、『必要なサービスがある』は52.3%で、「外出同行（通院、買い物など）」（20.7%）が最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（18.0%）、「見守り、声かけ」（16.2%）となっている。

一方、「特になし」は43.2%となっている。

図表 2-12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス/主な介護者の勤務形態(フルタイム勤務)



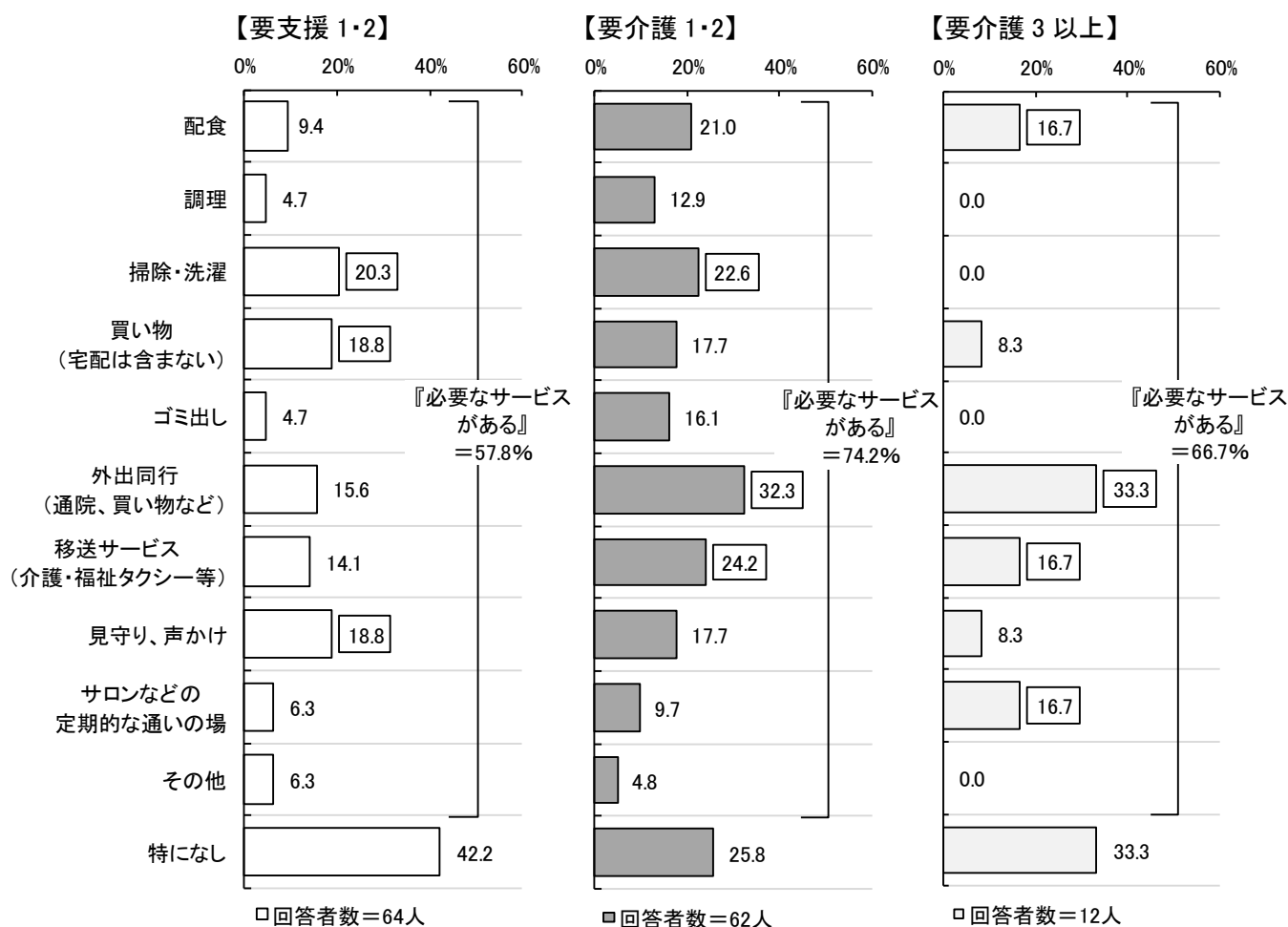
※『必要なサービスがある』=100%－「特になし」－「無回答」

※□は上位3位の選択肢

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、単身世帯の場合を要介護度別にみると、“要介護1・2”、“要介護3以上”では「外出同行（通院、買い物など）」が最も高く、それぞれ32.3%、33.3%となっている。

一方、“要支援1・2”では「掃除・洗濯」が最も高く20.3%となっている。

図表 2-13 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス/要介護度(単身世帯)



※『必要なサービスがある』=100%-「特になし」

※□は上位3位の選択肢

(10) 施設等への入所・入居の検討状況

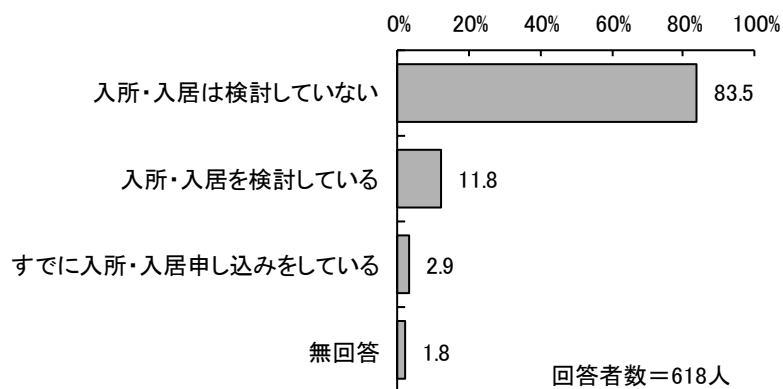
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

(1 つを選択)

施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が 83.5%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 11.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 2.9%となっている。

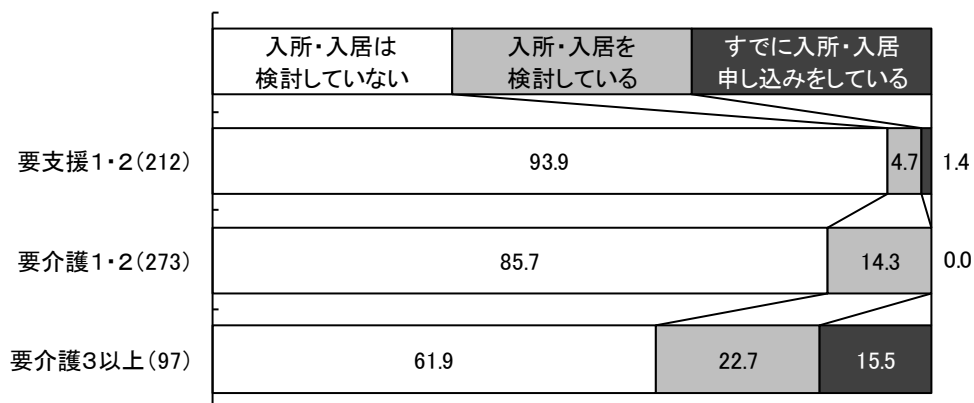
また、要介護度別にみると、“要支援 1・2”では、「入所・入居は検討していない」が 93.9%となっている。要介護度が高くなるにつれ「入所・入居を検討している」の割合が高くなり、“要介護 3 以上”では「すでに入所・入居申し込みをしている」が 15.5%となっている。

図表 2-14 施設等への入所・入居の検討状況(単数回答)



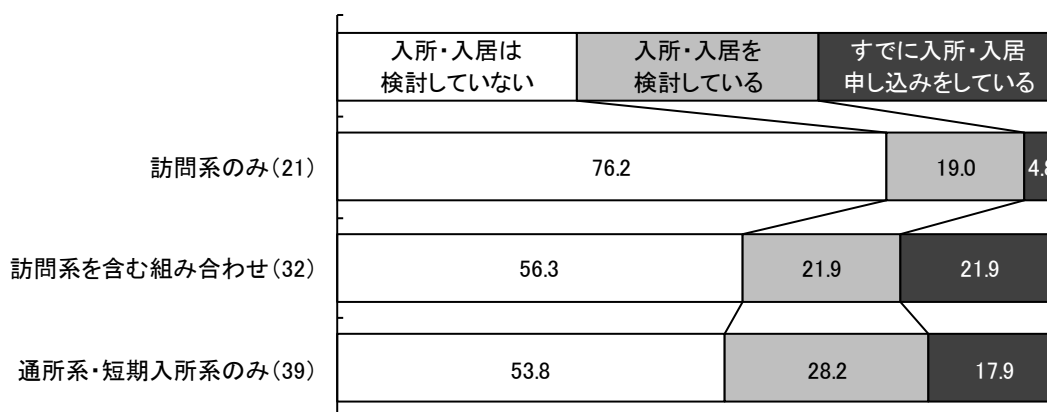
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指す。

図表 2-15 施設等への入所・入居の検討状況/要介護度



施設等への入所・入居の検討状況について、要介護3以上の場合をサービス利用の組み合わせ別にみると、「入所・入居を検討している」と「すでに入所・入居申し込みをしている」を合わせた割合は、“通所系・短期入所系のみ”が46.1%で最も高く、次いで“訪問系を含む組み合わせ”が43.8%、“訪問系のみ”が23.8%、となっている。

図表 2-16 施設等への入所・入居の検討状況/サービス利用の組み合わせ(要介護3以上)



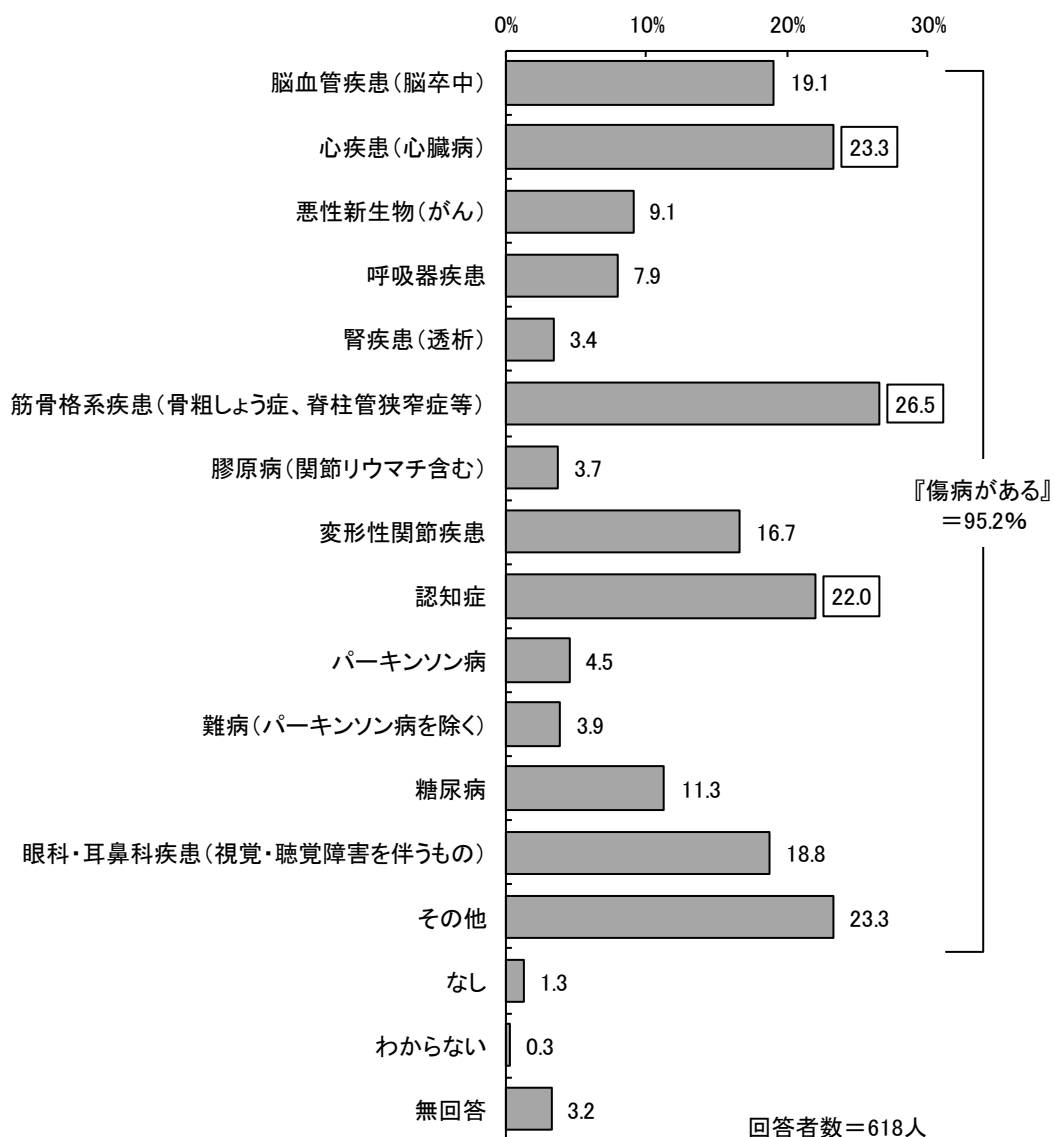
(11) 現在抱えている傷病

問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。

（複数選択可）

現在抱えている傷病について、『傷病がある』は 95.2%で、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（26.5%）が最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」（23.3%）、「認知症」（22.0%）となっている。

図表 2-17 現在抱えている傷病（複数回答）



※『傷病がある』=100%－「なし」－「わからない」－「無回答」

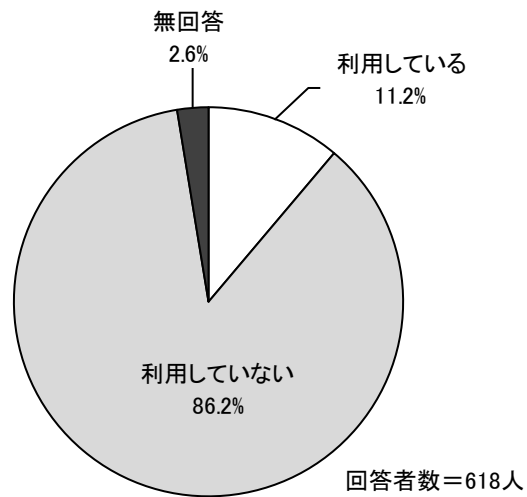
※□は「その他」を除く上位3位の選択肢

(12) 訪問診療の利用状況

問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1 つを選択）

訪問診療の利用状況について、「利用している」は 11.2%となっている。

図表 2-18 訪問診療の利用状況(単数回答)



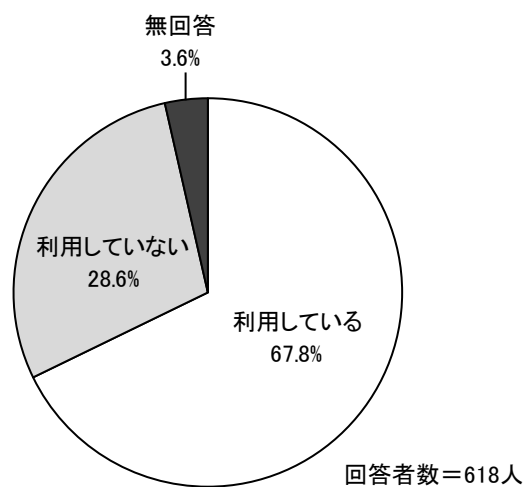
※「訪問診療」には、訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含んでいない

(13) 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。(1 つを選択)

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況について、「利用している」は 67.8%となっている。

図表 2-19 在宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況(単数回答)



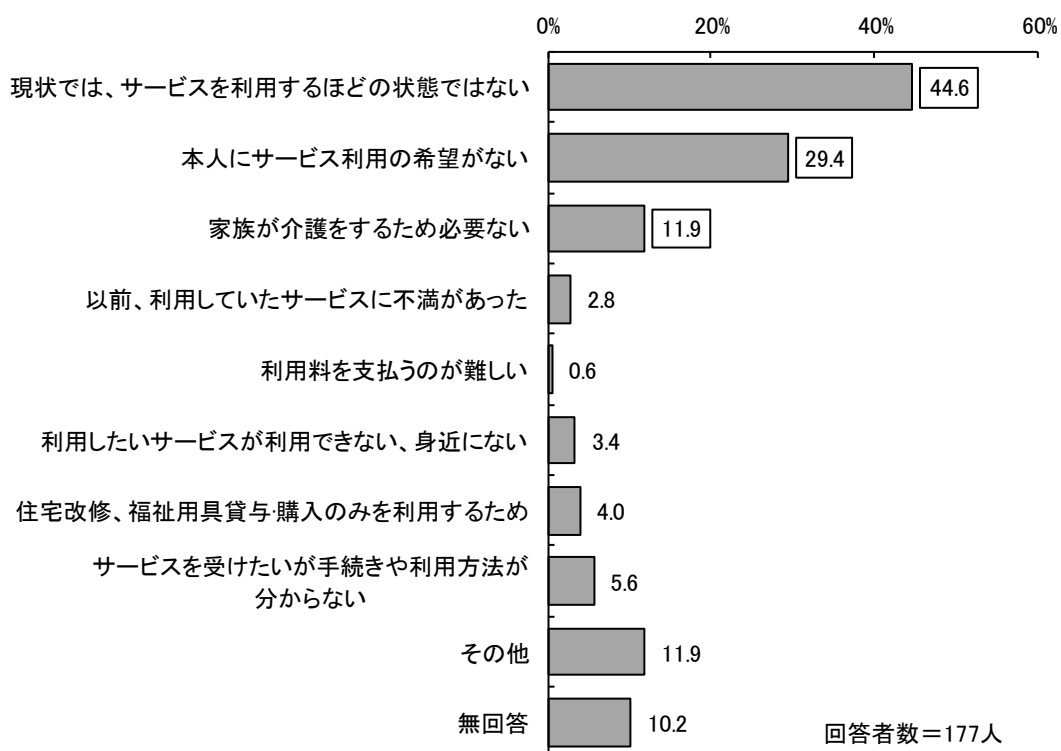
(14) 介護保険サービスを利用していない理由

問 14 問 13 で「2. 利用していない」と回答した方に伺います。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 44.6%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 29.4%、「家族が介護をするため必要ない」が 11.9%となっている。

図表 2-20 介護保険サービスを利用していない理由(複数回答)

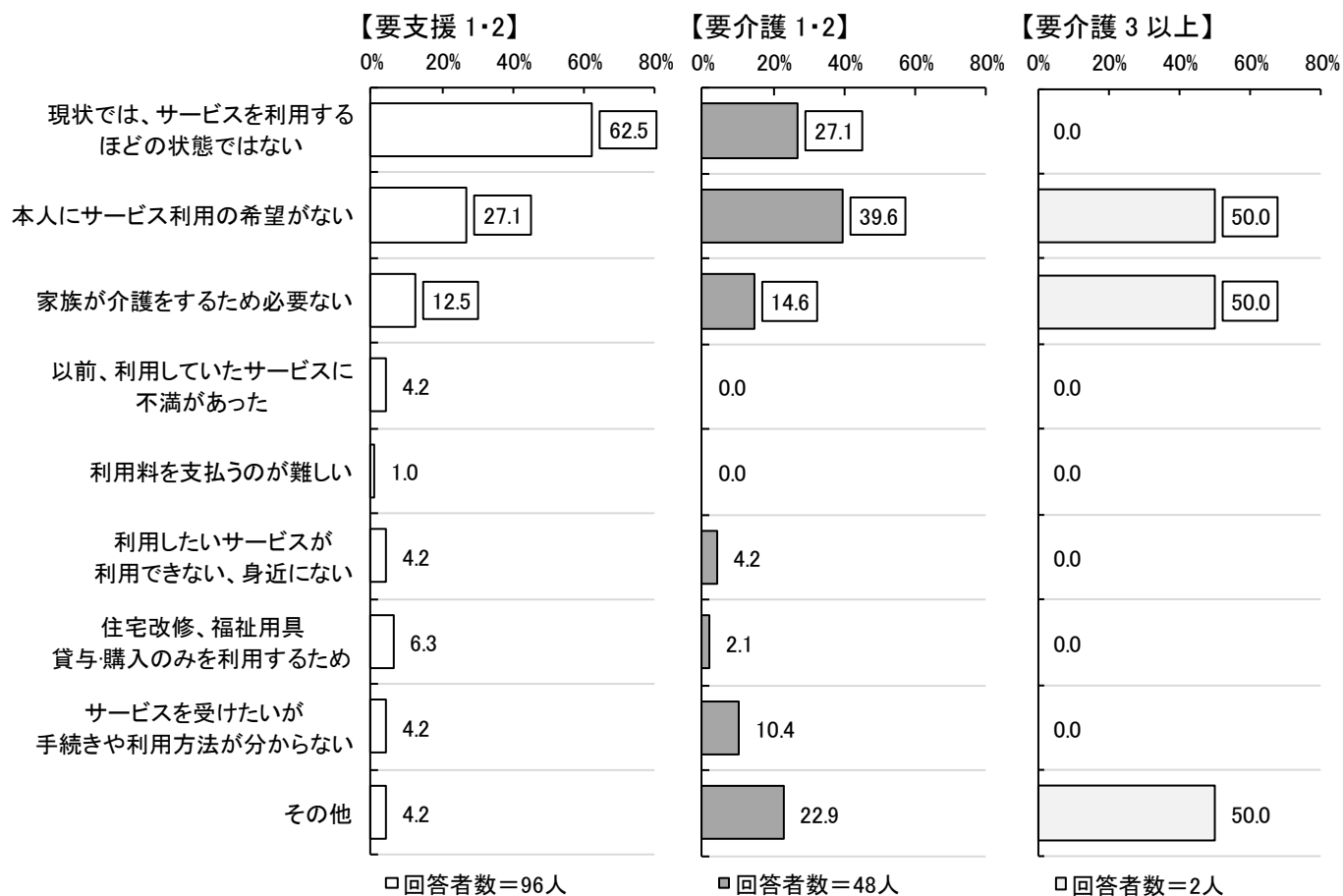


※□は「その他」を除く上位3位の選択肢

介護保険サービスを利用していない理由について、要介護度別にみると、“要支援 1・2”では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 62.5%で最も高くなっている。

一方、“要介護 1・2”では「本人にサービス利用の希望がない」が 39.6%で最も高くなっている。

図表 2-21 介護保険サービスを利用していない理由/要介護度



※□は「その他」を除く上位3位の選択肢

3. B票（主な介護者、もしくはご本人が回答・記入する項目）

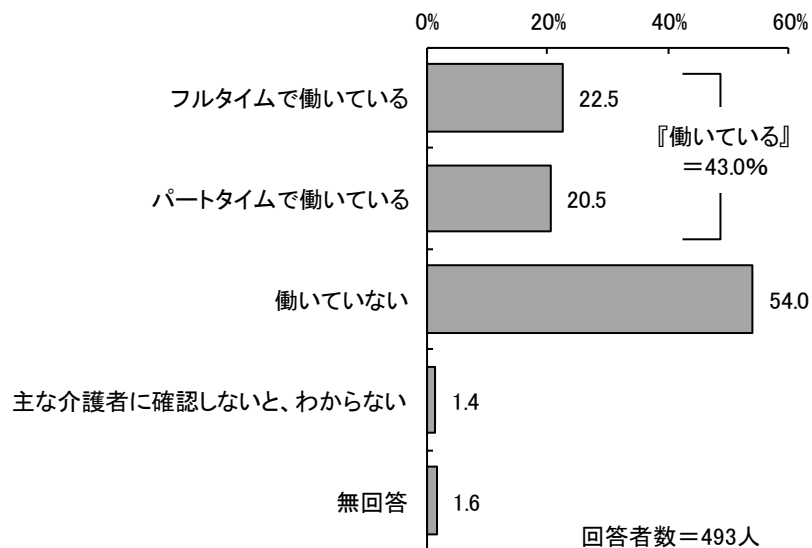
（1）主な介護者の勤務形態

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が54.0%となっている。

一方、『働いている』は43.0%で、「フルタイムで働いている」が22.5%、「パートタイムで働いている」が20.5%となっている。

図表 3-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当する。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含む。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択。

※『働いている』 = 「フルタイムで働いている」 + 「パートタイムで働いている」

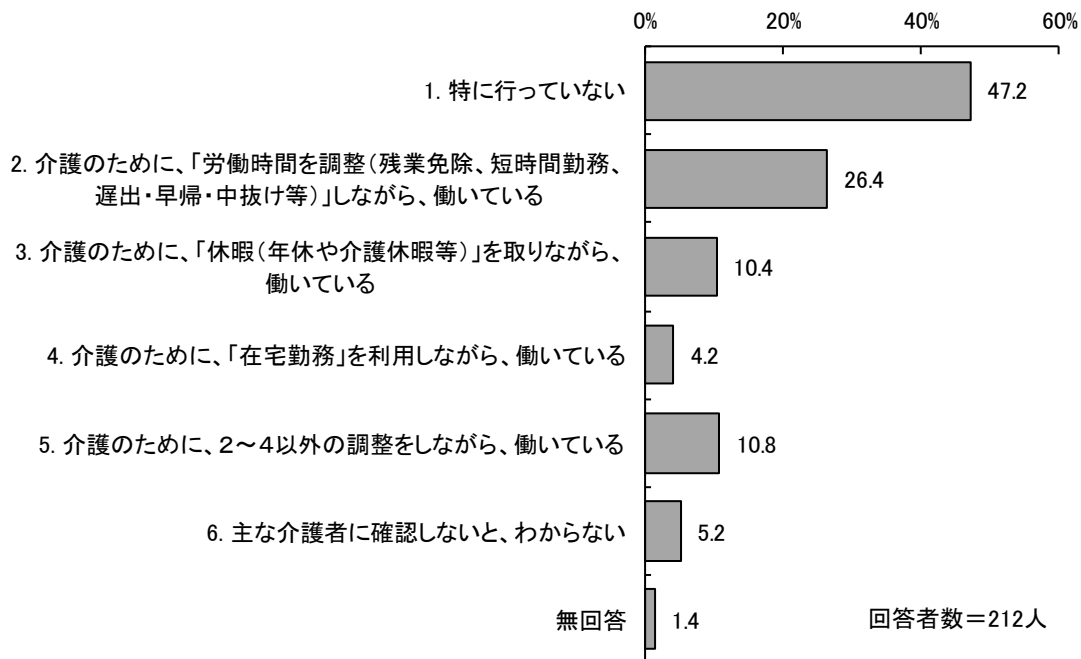
(2) 主な介護者の働き方

問2 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)

主な介護者の働き方は、働き方についての調整等を「特に行っていない」が47.2%で最も高くなっており、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が26.4%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が10.8%となっている。

図表 3-2 主な介護者の働き方(複数回答)



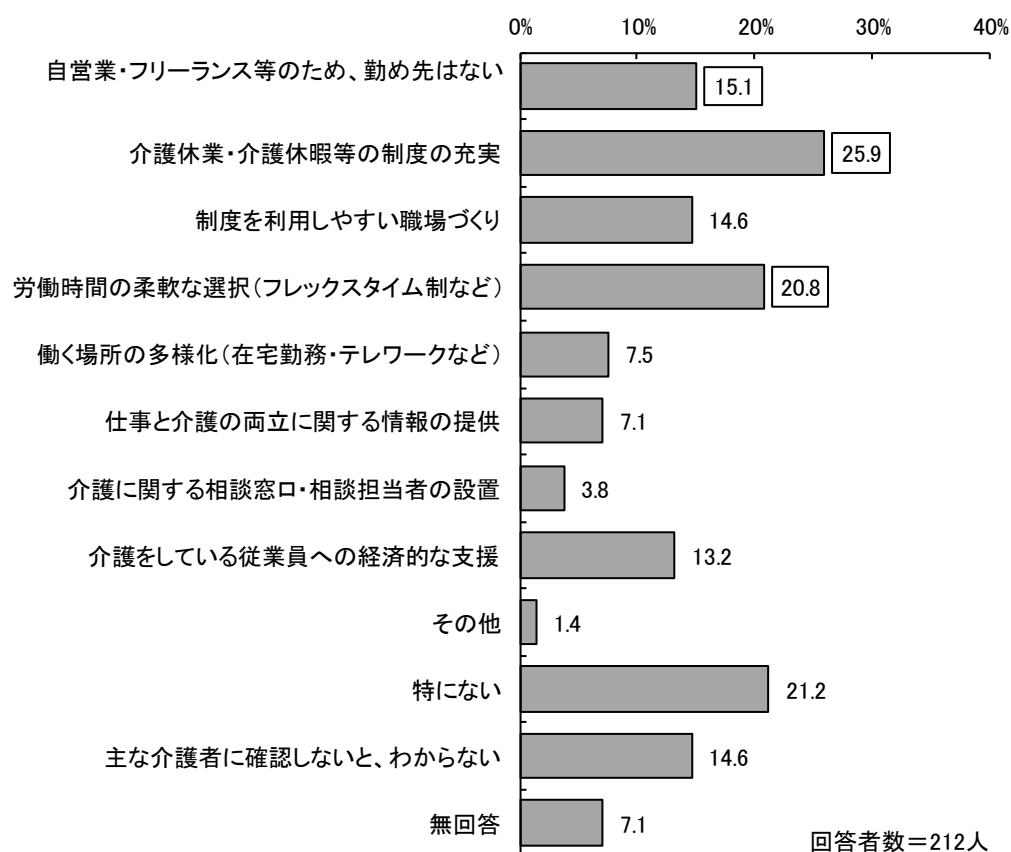
(3) 仕事と介護の両立のために効果的な支援

問3 問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3 つまで選択可)

仕事と介護の両立のために効果的な支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.9%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が20.8%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が15.1%となっている。

図表 3-3 仕事と介護の両立のために効果的な支援(複数回答)



※□は上位3位の選択肢

(4) 仕事と介護の両立

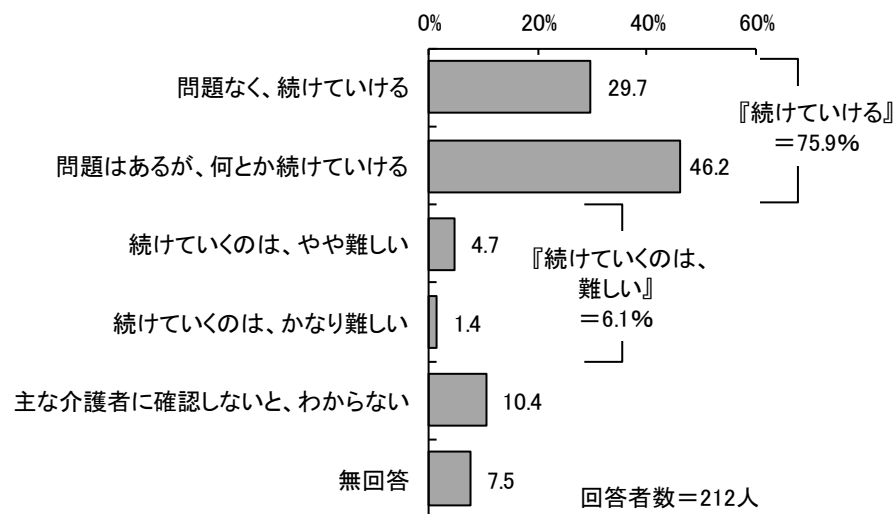
問4 問1で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

仕事と介護の両立について、今後も働きながら介護を『続けていける』は75.9%となっている。

一方、『続けていくのは、難しい』は6.1%となっている。

図表 3-4 仕事と介護の両立(単数回答)

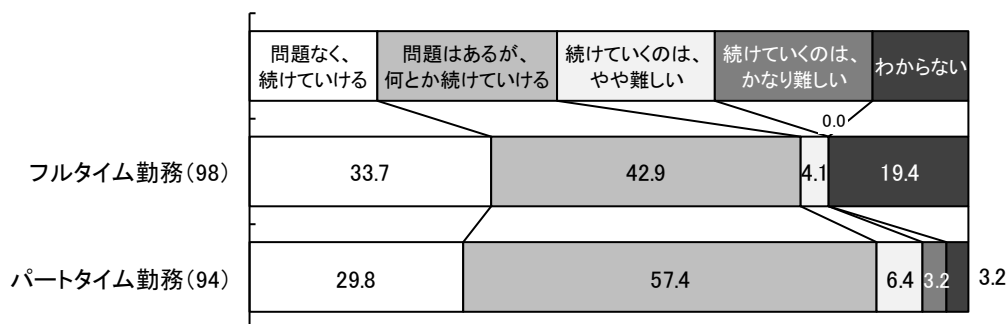


※『続けていける』 = 「問題なく、続けていける」 + 「問題はあるが、何とか続けていける」

※『続けていくのは、難しい』 = 「続けていくのは、やや難しい」 + 「続けていくのは、かなり難しい」

仕事と介護の両立について、主な介護者の勤務形態別にみると、今後も働きながら介護を『続けていける』は“パートタイム勤務”（87.2％）が“フルタイム勤務”（76.6％）を10.6ポイント上回っている。

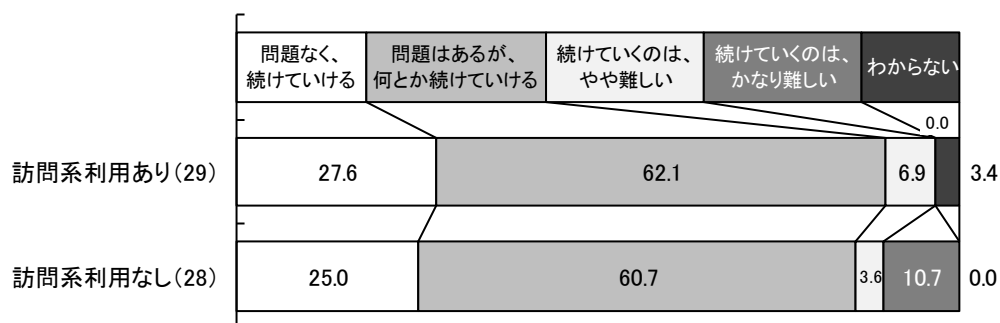
図表 3-5 仕事と介護の両立/主な介護者の勤務形態



※『続けていける』＝「問題なく、続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」

仕事と介護の両立について、要介護2以上の場合をサービス利用の組み合わせ別にみると、『続けていける』は、“訪問系利用あり”（89.7％）が“訪問系利用なし”（85.7％）を4.0ポイント上回っている。

図表 3-6 仕事と介護の両立/サービス利用の組み合わせ(要介護2以上)



※『続けていける』＝「問題なく、続けていける」＋「問題はあるが、何とか続けていける」

(5) 主な介護者が不安に感じる介護

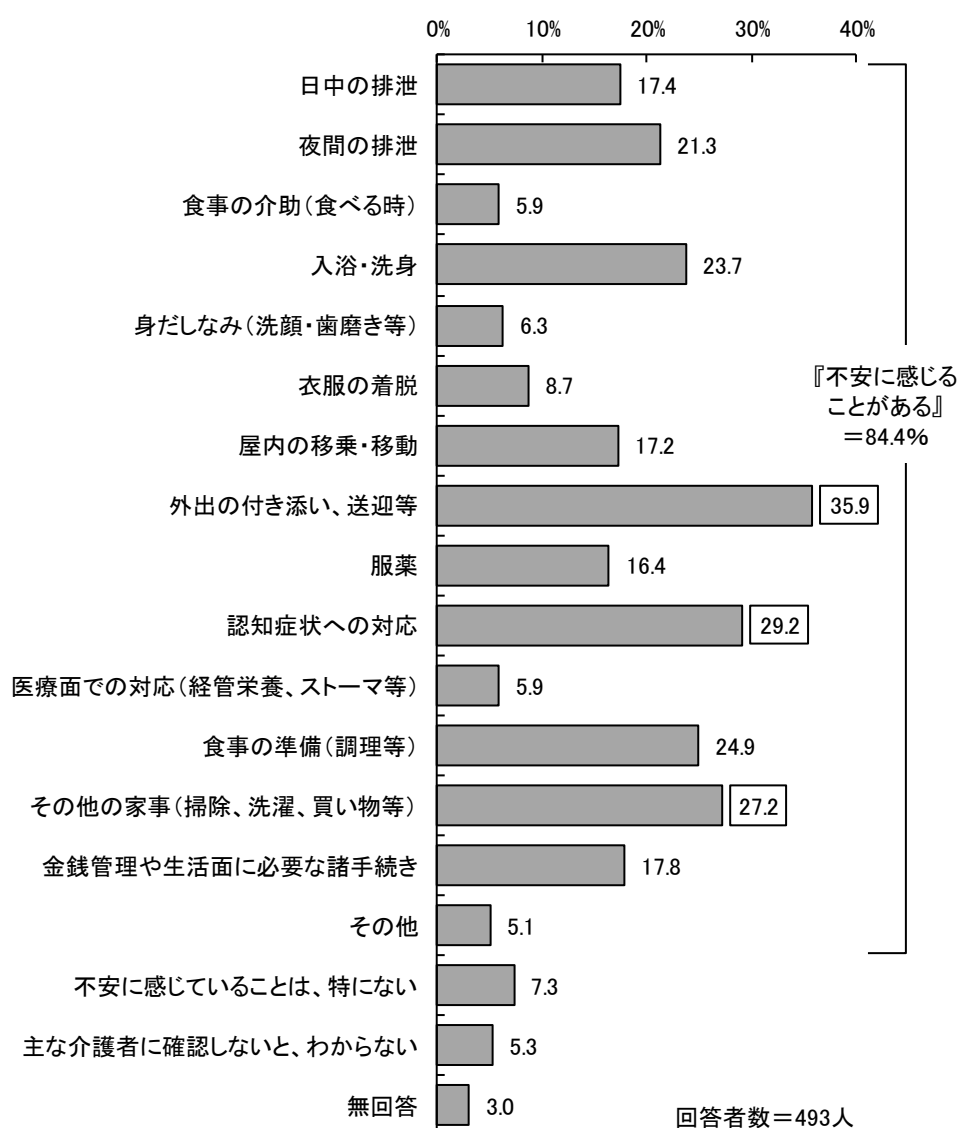
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)

(3つまで選択可)

主な介護者が不安に感じる介護について、『不安に感じることもある』は84.4%で、「外出の付き添い、送迎等」(35.9%)が最も高く、次いで「認知症状への対応」(29.2%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(27.2%)となっている。

一方、「不安に感じていることは、特にない」は7.3%となっている。

図表 3-7 主な介護者が不安に感じる介護(複数回答)



※『不安に感じることもある』=100%－「不安に感じていることは、特にない」－「主な介護者に確認しないと、わからない」－「無回答」

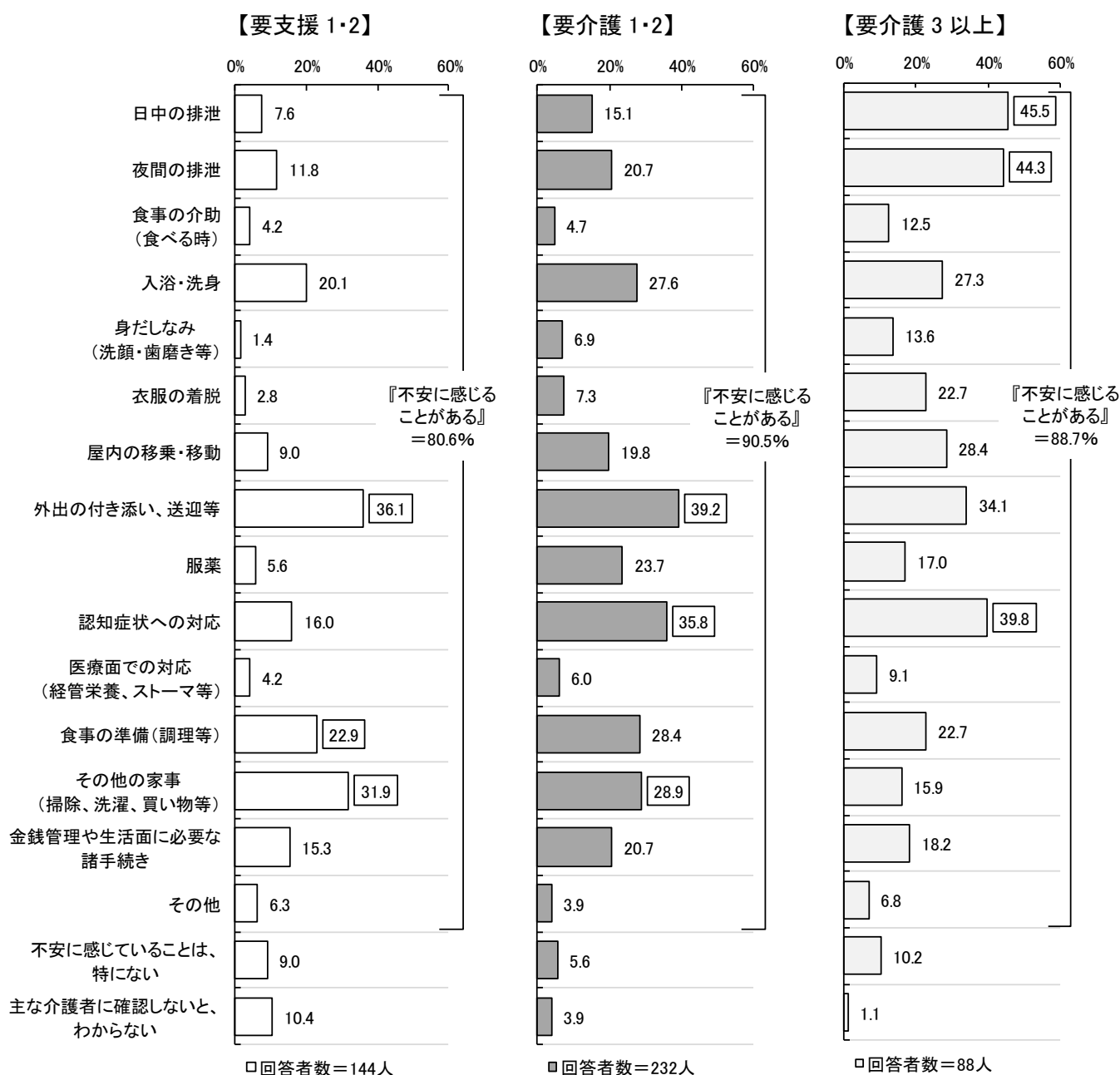
※□は上位3位の選択肢

主な介護者が不安に感じる介護について、要介護度別にみると、“要支援 1・2”では、「外出の付き添い、送迎等」(36.1%)が最も高く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(31.9%)、「食事の準備(調理等)」(22.9%)となっている。

また、“要介護 1・2”では、「外出の付き添い、送迎等」(39.2%)が最も高く、次いで「認知症への対応」(35.8%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(28.9%)となっている。

また、“要介護 3 以上”では、「日中の排泄」(45.5%)が最も高く、次いで「夜間の排泄」(44.3%)、「認知症への対応」(39.8%)となっている。

図表 3-8 主な介護者が不安に感じる介護/要介護度



※『不安に感じることがある』=100%-「不安に感じていることは、特にな」-「主な介護者に確認しないと、わからない」

※□は上位3位の選択肢

IV. 調査票

事業所名[_____]

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[_____]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A票

認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | | | |
|---------------------------|---|---------|---------|
| 1. ない | } | 問8(裏面)へ | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | | | |
| 3. 週に1～2日ある | | } | 問3～問13へ |
| 4. 週に3～4日ある | | | |
| 5. ほぼ毎日ある | | | |

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問 13 で「2. 」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他 |

● 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に B 票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

B票**主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目**

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている

2. パートタイムで働いている

3. 働いていない

4. 主な介護者に確認しないと、わからない

問2～問5へ

問5(裏面)へ

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない

2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている

3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている

4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている

5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている

6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない

2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実

3. 制度を利用しやすい職場づくり

4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)

5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)

6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供

7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置

8. 介護をしている従業員への経済的な支援

9. その他

10. 特にない

11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける

2. 問題はあるが、何とか続けていける

3. 続けていくのは、やや難しい

4. 続けていくのは、かなり難しい

5. 主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

高齢者の福祉や介護に関する調査
－ 在宅介護実態調査 － 報 告 書

発行年月 2020年 3月

発 行 者 町田市高齢社会総合計画審議会
町田市

〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22

TEL 042-722-3111(代表)

編 集 いきいき生活部いきいき総務課
